

思想上にも

際へて著後歌に助き熊殿する處ち殿に同夜松浦、風見其の他の少肚

られるは遺憾に思ふ、殊に世上に種々運動が行はれ内紛等傳へ議會切迫の重大時期に際し霧内

安達內相車中談

無内の騒ぎは 遺憾に思ふ 盟主と思はれるのは甚だ迷惑

関東京十四日發電通 安達内根は 一度地方態災地議察のため次田地 方限長同野十三日午後七時半東京 たの城く語ったが車中時局に関 したの城く語った

安達菜の策動云々さ自分が盟主 の如く見られるのは迷惑至極で ある、自分さしては墨窯一致事 に當らん事を期する外他に念さ する事はない、今日も原、常田 櫻内の諸君が來られたので慕内 の一致結束に努める事な希望し て置いた、中野君には誤解を招 くやうな運動は薫のためにも不

礦產、森林等 民國の大寶庫 電影、電影、回々、哈陽の六種に客 一つここが出来る、職人は土骸之者 一つここが出来る、職人は土骸之者 一つここが出来る、職人は土骸之者 七十年性居し其多くは比骸陝西人 七十年性居し其多くは比骸咬西人 いのは連続である。南人は都清響 には師定資本なく豪庭することが 島来ない調だ。職主観念が國民の のは連続である。南人は都清響

一 である、歌志人もまた終哈甫、 ・ である、歌志人もまた終哈甫、 ・ である、歌志人もまた終哈甫、 ・ 個別歌を鑑んでゐるが些商は裕祉 ・ である、歌志人もまた終哈甫、 ・ 個別歌を鑑んでゐるが些商は裕祉 ・ である、 での三様の満洲人は

六つの民族が住居

マ・・新疆省 は湯部にが職産 製成の資産にから國内・財政を辞國 事情の投資を開發を無望してゐる 事情の投資を開發を無望してゐる を表現の資産がから國内・財政を辞國

間は今間滿洲の舊智を襲い賦満洲語を操り一號の風 版は游牧の民で

種族に新郷省に安徽に大局に輸入し際的さなつてあるとなってあるとなってある

金撤廢は上 北四省其仙 新税計畫は上海で頗る不評判 他は存 口來年二月頃 省だけ

|無、浙江、福建、安徽、江西、湖北、湖南七省に實施し東北その他は轍殿不可能のしこれを公布するに決定したがその内容と經過左の妃しの以前が新年早々實施すべき詹金嶽殿、新闢稷の發表、新税計畫については つて必然的に創設されることとなりその内障は

ーカの

新税率は(イ)関税の増收(ロ)國民融工業の保護(ハ)奢侈税率引上の三大厩脈から成り最高大割餓新願税々脈は十一日立法部より國民政府に懸けされ近く養養も明年二月ごろ實施の響である。このに課税するもので驚金以上の高率さなる、民國の膨撃はこれがために害さるべしさいふのである。に課税するもので驚金以上の高率さなる、民國の膨撃はこれがために害さるべしさいふのである 五分景低五分、この境較高は一億元である がはこの新税に獣し頗る不評である、飾ち枯の新税は國産品の主なる七十種の貨物

與黨少壯派 先づ鎭静に歸す

安達内相の使者中野正剛氏ご 少壯組懇談の結果

來議會で波瀾を起す問題はない

十六日の總務會から樹立を協議 幣原首相代理繼續論幹部に濃厚

時代の保製より三銀三子真園も被 ない、この第一義がよく地つてく るれば問題はあるまいさ思ふ、今 年う緊急保軽は政心會の放漫政策 年う緊急保軽はあるまいさ思ふ、今 陛下の 御意思で出来た

だ、婦人は瞬を包んで現はさない で歌品人に似てゐる、たと歌古人 とりは深深であり歌歌に記なく。 とりは深深であり歌歌に記なくる。 たの者でゐる、たと歌古人 とりは深深であり歌歌に記なくる。 とのは表示のる。 とのな者でゐる。 とのは深深であり歌歌に記なくる。 とのな者でゐる。 とのなる。 とのなる。 とのなる。 とのなる。 とのなる。 といいに行る。 といいに行る。 といいに行る。 といいに行る。 といいに行る。 日銀券發行條例 改正案は提出せぬ 今議會に大事ごり

の概率の見速しは明年上年齢の据 歴の成装を得たが、日鑑正貨票像 へ提出せぬ事に大政省のが批は決 歴、日鑑映鑑時間に認識を進め一 で大事を取り今後會には同歌正案 で大事を取り今後會には同歌正案 を表しまだ卓滅の巡波跡に在るの を表しまだ卓滅の巡波跡に在るの を表しまだ卓滅の巡波跡に在るの を表しまだ卓滅の巡波跡に在るの 東北政務委員會 署長事務引繼

撤廢內定說

子を持つてるる時でも の等は 自著さしても皮が

府の職立と司時に燃配した、然る 動物要素就會の組織と司時に之を た北京、漢口、廣州各政治分會さ 日まで政務委就會を存置し残った た北京、漢口、廣州各政治分會さ 日まで政務委就會を存置し残った を重成一の理前から 日本で政務委就會は一年年末燃配し に掘り東北は特殊の事機に使り今 全國統一の建前から

し、江木戦機は總裁代理さして統 下五千餘名出際、管武決議を可決 下五千餘名出際、管武決議を可決 熟鑑を握び六時過ぎ設會した 叛亂鎮定 叛徒潰走す

臨時首相代理な 温りに更迭すべきでな

千葉行の 江木鐵相 作語る

さぶふのか……年寄りはおい者のする事が心配になるも 東京十四日發電通】十二日借替 大藏證券成績

机太平洋會議

明年秋南京で

滿蒙問題で日本を

民政黨の對議會策

繁を含つるに決した、食器の主要 基礎を決定したを購入られてゐる 像に着手・食場には國民政府大震 じめ日本艦を駆逐する點日方針の 際に決定、支那艦 は軽くく器 部より憲出忠慌なき意見を中原せ に設かれる池太平正倉職は解説で 四十名の代表中三分の二を中央監 で開かれる池太平正倉職は解説で 四十名の代表中三分の二を中央監 壓迫する支那の肚

船荷に戦時特 別保險料

『ロンドン十三日發電通』カンデ

行覆三九〇三番

北寧、平綏兩線

天静和 〇〇

明東本本 お知らせ、後ろ後で関東煮御飯付喰放題奉仕参拾後で関東煮御飯付喰放題奉仕を治さって気持の良い関東煮を始めました。ざを治して、関東煮御飯付喰放題奉仕を治して、

通知申上候日午後一時死去仕候間此段原知各位に御老田リヨ儀豫で病氣の處養生不相叶本 は明十五日午後三時途中行列を廢し常安寺に於て妹 赤高 山山

かも知れのこの観測を抱いてゐる

出動した

東北軍歸還

から 河北、

察哈爾

枝公交德 ##ITTE

じて居り、新規事業が跳いから識 問題ほあるが総局機能を終すべき 徹路の問題さなるべき動にないさ起 ものはない、これを 大相似よう れば五十九諸會 な月雌さするものであるからの論 ものであるさ能する しのであるさ能する **修殿するに内定したさの説が有力**

佛新内閣も

圓

0)

短命か

保養口座東京一四一三番・創業後十年日本(良労月刊)、一般京本郷で入る曹國四路)、億 券問 帰日本(良労月刊)、一般・代金一ケ月十五段中年八十段一ケ年一個五十段(限前金)の介統系統を詳細簽表、其他債券指統十倍法債券利頼法等有益記事論の介統系統の詳細簽表、其他債券指統十倍法債券利頼法等有益記事論の介統系統の

國稅輕減と 地方税との均衡 大藏省案一部修正

熱河省首府を

年末年始の休暇利用八日間の旅

上海青島視察團募集

げふ内務省ご交渉

大学に変するのである。

「一本版が多いので之を含の中部によばし網天に近き飛線に響するのでである。

「本版が多いので之を含の中部によばし網天に近き飛線に響するの間である。

「本版が多いので之を含の中部による。」

「本版が多いので之を含の中部による。」

「本版が多いので之を含の中部による。」

「本版が多いので之を含の中部による。」

「本版が多い目下東北政務委員会に成る。」

「本版が多い目である。「本天電話」

申込はツーリスト・ピューローへ電話五五五四

リスト・ビューロー

限費四十五国(汽船贯·宿泊料·心刚一切)

大連着一月四日

大藏修正案を 内務省る承認か 石井禁警察署長

古口里、 佐田軍 除 軍事職の激息によれば悪在吉城舎 の常備軍隊は七萬六千餘、悪龍江 は六萬餘、育してゐること。 奉天電

率天醫學會講演

御用酒 宮内省

を を を を の の の の の の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に 。 に 。 。

此で麻三日庭泊の鎌定であるさ と十六日徳山より旅順へ入港すると十六日徳山より旅順へ入港する 『洲埼』旅順入港

乗客左の如し 木村滿鐵理事、高見成、後沼謙三 香港丸乘客 常てはトルコの名物

を如木なく語った

類鳥

忘年會御案內 金人樣以上 大島物一切御注文に應じ大勉强致します 大島 衛衛二本付 壹圓五十錢 村 七品 衛衛二本付 壹圓五十錢 大島 衛衛二本付 壹圓五十錢 大島 衛衛二本付 壹圓五十錢 マ

電話五六〇四番

安 會 大 勉 理、 、 御電話下さいまずれば直に参上網相談に應じます、 料理人は東京一流の腕さいですごうぞ御試食順ひまず、 料理人は東京一流の腕さいですごうぞ御試食順ひまず、 御電話下さいまずれば直に参上網相談に應じます。 第 正

●バジュ頭痛にノ 株式會

きのふ着任初登廳

の由【金州電話】

何事も胸におさめて

商谷 =四O七電

翻都監市連大

・ファイブ

ツク(男子の部)

5月4日

5月4日

9月20日

5月22日

7月6日

全滿リレー

全滿選手權

極東強選

全滿選手權

極東強選

全満リレー

5月4日 極東豫選

ハンティー

明(工事) 5月22日

盛 (強順) 10月5日

二百メートル

科武(監大) 10月5日

正計(大連) 5月2-2日

人百メートル

(6) 54秒5 今井 科武(留大) 5月25日 工大製留大

(1) 2分1秒2 三隅一二三(大連) 10月5日 全衛選手權

千五百メートル

開記録 4分14秒6 永谷 第一 (距布四年) 4分18秒6 永谷 第一(大 遊) 10月5日 全線選手機 4分18秒8 大阪 寛一(大 連) 5月4日 極東策選

4分34秒4 課田 秀雄(大二中) 9月20日 州内中等 4分35秒4 成毛 復聞(醫 太) 6月26日 劉太劉工大

15分46符6 永谷 第一 (昭和三年) (1) 16分27秒 八重四荣太郎 (大連) 10月5日 全滿選手權

32分30科8 永谷 壽一 (昭和二年)

(1) \$3分30秒6 永谷 壽一(大連) 10月5日 極東難選

マ ラ ソ ン 薬剤配験 2時間46分36秒6 液逸 逸 (昭和二年) (1) 2時間48分6秒6 八重四梁太郎 (大連) 4月13日 滿日マラフン

(2) 2時間52分49時2 渡 邊 逸 (大連) 4月13日 瀬日マラソン

15秒3 健岡 維吉(昭和五年) (1) 15秒3 髓 附 航 吉 (大 連) 9月7日 大連到京徽 (2) 12秒 暗 山 昌 邦 (日 大) 聖大製工大

高州記錄 57時6 柏 木 害 丸 (昭和四年)

(1) 1分0秒4 山田 俊男 (大 進) 10月6日

福測記録 40秒 滿洲チーム (大正十三年)

端開2分04秒4DACチーム(昭和五年)

福州巴泽 3分29 秒全端チーム(昭和年)

カタログ贈呈 地方特約店募集

滿洲總**發**賣元 大 海

四番地

司

語商

1

T

四百メートル繼走

4 6 秒 工事チーム(永城・菅原・坂田・川口)6月22日 全端サン

八百メートル機定

福州記録1分32秒7福州ナーム(仲田・中村・岡・今年)大正十五年

C1)1分33秒4 (小数数・範囲・松重・油野)10月5日全流選手機

(2)1分3 移6 (豊大 チーム)5月25日韓大穀工大

(3)1分36秒6《大連二中チーム》9月20日州內中等校 西山。西井。吉屋。波邊》9月20日州內中等校

(1) △2分4秒4 (D A C チ - 4) 9月7日大連對京國

千メートル繼走

千六百メートル繼走

(1)A8分29数(全 滿 チ - A)8月10日全議調整

四百メートル

利武(劉大)

11秒4 加藤 鎮平(大瀬) 9月20日

(1) 22号1 岡 健久(大連) 8月10日 (2) 22号9 田中 盛—(集取) 10月5日

派刑配錄 5 1 数 6 松重 秀雄(昭和三年) 胃

通用記錄1分59号8 濱田 常盛(昭和三年)

(2) 2分1秒8 萬田 常盛(大連) 8月10日

4分28种8八重图蒙太郎(大連)

4分31秒8花田 一彦(大連)

ル・タイマーが居ない結果満洲陸青島會が公認してあないからこのペ スト・ファイブに入れることを選げた。また種目によってファイブに 満たないものがあるがこれは親技會の少ない満洲では致し方あるまい

【同即録は期日の先れるた上記さずムは滿州新記録〇は日本新記録】

(1)△10秒8 岡 (2) 11秒1 赤城 (3) 11秒2 田中 (4) 11秒4 今井

(3) 23秒1 今井

5 3 移 2 松重

53秒7 木田

(3) 2分9秒4 深田 秀雄

七今日: の頭、

6の、職種に織しさうである。 マアぼつ (です、) です、融入の総裁職はまさに離さなつてゐる「マアぼつ (です、

日曜に繰出したサラリー

マンて

お後人院にポーナスがゆき渡つてからのここだすなアー

術は無い人の滅で騒つた、際にポーナスの起りが出れて大寶出しの源速町、連錐町、整坡町方館の離底れて大寶出しの源速町、連錐町、整坡町方館の離底

東京十四日景電通』独口首根の 中に繋を刺り及新聞も腰よせたい を體は十四日午前十時標温三十六 さいつてゐる、食種をしては味噌 郷は至極以続であるので近親者は なかしくの元線であるを 郷銀地冷暑さも根拠のうへ今明日

歳晩の商店街おは賑ひ

流

考を

所有物 或

9

守

閣始

8)

直通電話

ない。そうの出所等については自行

廿一日に開通

宿直員殺し

犯人は歯科

新年の本紙に掲載する寫真印書を募集いなし

本大學

0

實年

寫

眞

締切來る

廿五日に

延期

製造津漆器

末

年

始

0

場期所間

際岐の島に本土から直通電話が際。| 住民の喜びは一なではないのスピード時代に明けても暮れて 二種に解紋電信を敷設し来のスピード時代に明けても暮れて 二種に解紋電信を敷設し来でしまって、今度のは曜岐島 ― 標

際始する智で同地方に曖昧神一概が重な見たものであ

し命の張宗昌氏

歸國準備に忙殺さる

田殿神歌日本大學東門郡御福祉 軍家田殿神歌日本大學東門郡御福祉 軍家田を強毅武士とれる人に記て 軍家田を強毅武士とれる人に記て 軍家田を強毅武士とれる人に記て 東京本大學東門郡御福祉 本書中の は野福嗣と教教護法とれる人に記て ででいる。 ででいる。 でいる。 でいる。

一等(三十圓)二等(十圓)三等(五膕) 一等(三十圓)二等(十圓)三等(五膕) 一等(三十圓)二等(十圓)三等(五膕)

別府出發は明春一月初め?

る も知らわ」で一様口を織し、連続 職してゐた事があるさで の者らしく「たさへ戮されても假 年より十二年まて解説とない、映画中の縁犯人 居り鬼行後今日まで保喰けた はぶ日のピラ叛命の一味で南方系 して出献してゐたもので、 の者らしく「たさへ戮されても假 年より十二年まて解説とない。

十二年まて警視闘巡査を写

文部省が全國八十四件に對して 門外不出の逸品揃ひ

揃いである 光淋の代表的作品で 毛利侯所有雪舟の作品その他いづれ劣らね珍品 和睦した時同寺に贈つた珍品 が建てたもので度見 |権もた時同寺に贈つた珍量 |作「寒山十得」 足利義政所持し後欄田信長の手に移りに下、寒山十得」 足利義政所持し後欄田信長の手に移りにした 原建意匠の自由な點では他 この僧偷側り知り離き門外が出の懲訟ばかりてざなる二三點を駆ぐれば、、対部省では十三日始めて個人所有帳八十四代に難し國實指定を励しる。 対部者では十三日端めて個人所有物八十四代に點·國質指定を歸らた、これ等はいづれて十四日養電通】個人の所有物に點する國質指定は新歴律に掲載して出來る事さなつてゐ 侵」足利義政所持し後欄田信長の手に移り信長が石山本願寺に載ひ途に長三年完成し六層建意匠の自由な點では他に類例のないものである。池田侯の所有であるが天正元年粰田直家が築城し天守閣はその子秀家

邦人は兎角官憲に頼り過ぎる 八子弟の教育 要す

昭和賦は出簽戦師に色めいてゐる は焼鯢來種々取り沙汰されてゐた は焼鯢來種々取り沙汰されてゐた は、いよ、〈近〈歸闽する機樣で

が、いよ/〜近〜時间する模様で 昭和賦は出登戦論に色めいてゐる 、一様につき実徴息通は 確定的で出登は大数令が二十日 頃出る事になつてゐる事だも明 毎月四、五日頃さなるであら うさ張も話してゐた

浦鹽の監禁邦

十名にそれん

るしく氏の

九人

内類染底南一條經鑑質融養所成方 に客を装つた九名の強然が包入し 底近に拳線を接して現金七十五國 を強勢逃走した急級に接した最終 の恋出所より響面四名が版を追続

有力なる容疑者 水上署で逮捕取調中 撒布の 国際高等係總職以で非常經改に監 をリ、十四日日艦に上海らず早額 なり、十四日日艦に上海らず早額 なり、十四日日艦に上海らず早額 はり神田高等主任以下機由にて該 であった親人十名は妻母(であった親人十名は妻母(の受決を言ひ)()された 神谷、宮崎、工藤、乃木) 神谷、宮崎、工藤、乃木) であった飛人十名は毒焼の結果左一覧部を食し政府の設論製膠を整備りの楽観によれば緊張チェルオネーに表配化し東京、大阪、極地新版りの楽観によれば緊張チェルオネーに表配化し東京、大阪、極地新版リの楽観によれば緊張チェルオネーに表配化し東京、大阪、極地新版リの楽観に信義された飲め窓

第一大名四日以來大田學務課長を作びまる四日以來大田學務課長を作び

も関東離もない意氣があつてほ とい、華人教育については改善 さい、華人教育については改善 ないために動もすれば日本の ないために動もすれば日本の ある風がある、自分は公學堂の がる風がある。自分は公學堂の

大森滿鐵理事視察談

穏ビ

ラ

今度の今度の安率線が観察して

日 近中を 以って職業教育を するのを根本方針でせればなら 増加する一方で附属地内の支部 に 特加する一方で附属地内の支部 に

十、十一の帰日にわたり寺兒海、山手町形配で養見された共産監の山手町形配で養見された共産監のの大変を発していた大変を発していた。

練習艦隊の 旅順入港

前に成て軍樂を吹奏参野を除すさ ・ 本日午前十時ころ旅艇へ入港する帝国練器艦隊「八雲」「出雲」 ・ 新聞練器艦隊「八雲」「出雲」 ・ 新聞練器艦隊「八雲」「出雲」 ・ 新聞練器艦隊「八雲」「出雲」 言論壓迫に 操觚界起つ

年末を想へれば傑年四

東西十

髯を剃

新聞も讀

ませる

益々元氣の濱口首相

高別記錄 1 未 3 2 平 1、順子(昭和二年)

三段 高端記錄10条099平線順子昭(和二年)

走 市 滿個的線4米59森本溫子(昭和三年)

(3) 4米28 高岭于代子(大連)

(1) 4米34 岩崎富士子(大連) 10月 5日

砲 丸 投 瀬塊記錄(日本記錄)10米43坂田峡代(昭和五甲) (1) 10米43 坂田 峡代(大連) 10月 5日

(1) 9米81 坂田 政代(大連) 10月26日 全日本選手権

(2) 8米91 岩崎富士子(大連) 10月 5日 全流選手權

(3) 8米69 濱屋八里子(大連) 10月 5日 全滿選手櫃

(2) 4坂32 坂田 政代(大連) 10月 5日 全滿選手櫃

4米17 四下チサエ(大連) 10月 5日 全流選手機

5月 4日 極東豫選

全海源手棚

が窓電浮跳城橋りの名の下に三日田時事新棚政治都記者継続正雄氏田時事新棚政治都記者継続正雄氏田時事新棚政治都記者継続正雄氏 共同戰線 五社が 一年七百順にしか差せず大阪融艦に全年末に放ては発艇さも二千曜に上ることは飛ぎなく、せい人 質力は日を添ふて窓るもと滅迹せ 修事情に災ひされ満洲に於ける職 への進出に最も深き關係を有する 聯入貨物 年 総にさ 継続かれている。 を生になるにに連続する。 ではなるには難なる。 ではなるには難なる。 フィールド(女子の部) (1) 1米25 全子八代子(大連) 10月 5日 全滿選字權 (2) 1米20 河原干蝕子(大池) 10月 8日 全流選手機 (3) 1米15 山口 ケニ(大連) 10月 5日 全議選手権

粗郭の家 强店 で息べ

半減の大阪商船定期船 みじめな海運界

の変質性につき四十段安 総会布の大連輸入に対するため本月一日より英 をでした。 をできたの本月一日より英 はなく、更に はなく、更に はなく、更に はなく、更に はなる。 が必然は五十

サ 特様である。かくの好く需要不振 の中にあって一髪二手順のもの かかくに戻し、健年一髪一萬冊のもの が今年は一千冊位しかない鑑めな の中にあって一髪二手順ぶくの握 の中にあって一髪二手順ぶくの握

逃走しんさし 蹴球の 帝大獲得

最後部三等客車内にあった野獣州車が瑞瀬駅を乗車後間と 暴れ廻る

御正月用品を始め

夜間營業十五日より

午後九時まで

十二月十五日より三十一日まで

十日

抽籤の上、

各其一點を等外は粗品を呈上

たしま

醫油一樽鰹節一箱、銘仙一反、子供服一着其他

地一疋、子供毛布一額縁一個ブトウ酒一

方蔵まで送り出す歌ぶららく定動されて経るものが墜上げされてもり目下線米中の曲であるが、明年の目では悪に響天、ハルビンニ月頃よりは更に響天、ハルビンニ 激減で あるさいはれ 最低

3

H

常品付

断然タイ プラ 五拾百貳金價定 生

正面向きです 損がありませ 姿體がどても優美です に低廉であります

んりますから故障や から素人でも小供で打

特許 驚 日華タ 異 的 つた其日から誰でも打てる

の出

現

ますから衛生的であります

何とぞ御賞味を願上げます

別献立を差替へておりますなべ、ランチなどの他毎日温かい よせ鍋、鳥鍋、牛

菓子器、類を陳列

實用向品々を山のやらに而して格安に お勝手用品等

現金お買上 十二月十五日より二十五日まで 高二圓毎に

漆 器 店

十二月 宮內省御用 第遠東ホテル跡 音遠東ホテル跡 漆 器 直 會

澤却

▲ 今井第三十旅喇及 十三日朝緩 ・ 村上浦織々道部長 十四日十九 ・ 時五分管列車で安東より來率の ・ 客

・ 脱電影の整個を披露し整缀の一 ・ なるものあり十二日地方 ・ なるものあり十二日地方

▲菱刈關東軍司令官 十二日巡陽 時旅 時旅 十二日巡陽

東鐵州事會は管理局に對して左の 東鐵州事會は管理局に對して左の 東鐵州事會は管理局に對して左の 東、市政局へ九七一二〇クポの新 か一々ポポドルで賣却すること 中央に移管

僅か 百五十軒》 商工總會の救濟策空し 一ケ月に

現業員のため្ 現業員のため は年後三時一 一様園主西田天香氏の の十分から奉天曜楼十に於て滿籤 四十分から奉天曜楼十に於て滿籤 四十分から本天曜楼十に於て滿籤 は年後三時

明する総話があった ・他田、総本の三郎等の数士に ・他田、総本の三郎等の数士に

楽集・る事となつた

小學校で義士會

『金さして金二十個な十三日奉天奉天佛教團では豆相地方の震災義

から温泉ホテルで總會を開いた率天銭灸組合では十三日午後三十

能率增進表彰式

入場を参数にして燃況を早した 計後機の下に養士舎を開催したが

等は銑鐵工場

鞍

報天總(戦事職等)の本年度(権は サ三萬四千百廿七反歩、總収入五 十二萬一千百廿七万で昨年の四十 七二萬一千百廿七万で昨年の四十 七二萬十七百十九石郎ち四朝法の地 無整につき輸資があるさ 施設につき輸資があり多數來職 数 悪・學校開係者 對・學校常生新 を設につき輸資がありる數來職 数 を設につき輸資がありる數來職 数 本年度の作柄 照(四し)は大正四年来滿し各所を明の四しに大正四年来滿し各所を「有る見込ないため十二日奉天署では同人かいた。 「特をしてるた處をの中病氣にか、」でき身寄のものもないので小谷無でもないので小谷無では一条天署では同人ないため十二日奉天署では同人ないない。

大阪市港町日本輸出豆館板工業組 合事務エ事川畑愛之助は十二日朝 安奉線にて渦奉長春に赴く 六百 大保園を紛失し蒼くなつてその 筋へ届け出た 日午後出張檢査をなす處あつた 高のを發 し本署から保官が十三 南倉事徐善長方の牛肉が腐敗して 無 二日午後一時より部内第二際接上 に然て繋付せられたが各工場を 所から組長以上二百紀名繁列 と 所がら組長以上二百紀名象列 と 特別の殿電殿であり高級である。
一等銃破工場、
一等筋膜上
一等筋膜上
一等大板面
一等大板面
一等大板面
一等

ぬるさ云はれてゐる

ンク開き

日に舉行

哈

Ā

統劍術大會中等對抗の

総山獨立守備第六大隊では來る二 廿一日中學校で 日午前九時十五分簡列車はて来敬 日午前九時十五分簡列車はて来敬 が後され

沙高高

藝的婦の

信金願

五百圓が最高

る世は 後一時から盛大なリンク 地想にリンクが出来主つたので來 理想にリンクが出来主つたので來

北滿經濟地圖を

近く東鐵で出版

各種の産業を網羅

年賀郵便取扱 互識會を職能するが出席希望者は 三十分より小學校識堂。於て新年 三十分より小學校識堂。於て新年 新年互禮會

| 歴象會では十四日午後六時より観出頻前琵琶百合野旭葵師門下の| 戦山撃緩所を課答工場を採では十 日より十五日昭までにかけて夫々 を所に続て総手會か開催して居る 時三十分より室町クラブに続て高 時三十分より室町クラブに続て高 忘年會一束 0 0

五

日本 生活 は は で は で は で は で は で は で と で は に な る こ で は で な が で い む か に な る で は で か で い む か に さ な か に か ら な に な か に か か に か ら な に

匪賊移動で

扱貨物

新聞記なが電影の走狗さなつて御には参かれるよは仲處までも支那には参かれるよは仲處までも支那

200

列車を嚴戒

悪連遂に盡きた

0

春

强盜殺人鬼銃殺

支那官憲の手にて

ニつつ

五十分 り銀がにおいて恋年會を戦山輸入組合では十三日午後九時 三十分より観響において応年會を 大森部長招宴

見重愛護デー

相野便物 部 第二年来の地遊する主共に 西城の横流 を地に で 我が少くさら 列車に かって ながから さら 列車に 乗り で は 市内 を かって は かった と が い に で は 市内 を が から さら が い に で は 市内 を が から さら が い に で は 市内 を が から さら で は 市内 を が から さら で は 市内 を が で は 市内 を が から さら で は 市内 を から で は から から で は から

支那官憲の

言論壓迫

田博士講演

マルピンにおける中国電流の影響 ・ 本新聞は一駅中国に関する問題は ・ 本新聞は一駅中国に関する問題に ・ 本新聞は ・ 本述は ・ 本述は ・ 本述は ・ 本述 ・

一般ないでは、 一ないでは、 一な

雅 大及の戦人を駆門に駆撃した鬼 のしたがカーリストビュローその他 したがカーリストビュローその他 したがカーリストビュローその他

年末に差通って

二十名から成る騎馬師販現の一十名から成る騎馬師販現の

なないことです」

が歌歌の管理を 名時な移さず出 変の管理を 登せる に匪賊 教祀しながら古家屯

談し出したのだ こんな大騒動、大気

この秋川さんを書してやらうさ思いたから、北は虚秘から、此處にぬしたのを深り枝がつくり出したのとかの花深り枝がつくり出したのといればない。 つて、此い船に置かに乗り込んだ

8

水各地名産

珍

物

あれ御供へ餅。餅。餅。

あんこ餅。

のし餅

す。それは程から管的しなければ「あく、月校さん!個を云ふので の態態さだけが自分な原館してるらさは云へ、今さなつては、自嘲からさは云へ、今さなつては、自嘲か

田田の町にもが便事が強い決心 で、月枝は云八彩へるさ、 新刊级个

木となっ

東京風菓子謹製

大山通

00

◎是非々々御用命た!

界各國酒

かけ、 対は がは が は 胃臓障害なき名類也対域 し下さ は 胃臓障害なき名類也対域 し下さ 製店電話九八七四線局電話三七一九 (至三月宿泊参日以上室料4減)

心身の 静養を無ね舊塵を脱し心ゆく の靈泉湯崗子を御選定遊ばせ かり新春の氣に浴せらるゝ爲め至滿第一 越年の最適所 湯崗子溫 泉

たはこ

美味安德

凸版"銅版" 久保田·

麻病其他の毒を下し

E B 場馬 江庄锡馬

婦産内 火 科科科

(東京市外定総町柏木アルリート、文戦副網事工ピソート、文戦副網事工ピソート、文戦副網事に、 ダラ幹の正明同盟結成官言その他、

日本自動車運輸の駅辺、告村寛本・一本自動車運輸の駅辺、告村寛治)部・一本一代一二月號)財界の将 **沙東京市外代々木**

のでした」 へ盛って、 の二人に一般の影を赤鷺の中

お互に怖ろとい戦慄が身を襲っ 事務長は慢中から、小さなノー 枝の顔が聴詰めながら、べたりの田部も驚いたやうに、ぢつさ

トを出して、ことで継 厳権の為して、 月校の云ふこさ いなりになって、 ないない かりが 終人 こいふわ なり 続したんですーーい こえ、 肉で なり はまた 此の 幸さん

「さあ、是から私が皆さんに申上 「さあ、是から私が皆さんに申上 げなければならないこさがあるの さ、また月枝が突然に野う云つ

を集めて日本膳屋 開戦するのを集めて日本膳屋 開戦する質屋た歌楽・賭・紫雪 常春 常春 遂に引 支那悪 渡さる 石 德記者 橋 て、此の惨昧の遊ぜられた彫りを で、此の惨昧の遊ぜられた彫りを でく出て行つた。 撃吉の死骸を、ちょつさ機べた が おりの でく出て行った。

馬賊團の動靜 空から見た開原 ない。 ないながいは、 ないながいは、 ないないないです。 でいながいないです。 でいながいないです。 でいるが、 がせず、 益々辛辣

能成器にては脚で響が中なりと 電感と交験 ちりとな情報により

東にて南行の豫定であるさ 東にて南行の豫定であるさ 東にて南行の豫定であるさ

製鐵所

けふ來鞍

村上滿鐵理事

狂犬に咬まれ 一名死亡 洲里

込みのこと 事は、に報道 たが四五日を經過 無責任な官憲

意

陽

廿二日まで

練習艦隊の

総合のこと をお二十三日まで地方事務所度務 をお二十三日まで地方事務所度務

瓦 店

跳が發見、同地 統を機へ闖入せ 作する支那人方の大変ない の强盗

つ立ってる。

中 178 中 17 が続が狂つたのも、みんな秘の心はけらやないんです。桃は此の人を この京子さん

演ん中に、月枝は昂松 修事が決心したら との京子さんを繋じて、 ぬ んを誤って刺したのも、 ありごあるゆる人たち ければならなくなった肉乳で、そのりごあるゆる人たらへ迷惑をか明然、こ人な風に展開してきて、

京子さ

神 が如何に我が國民の生活に思想。 ・ 生生が此の國際神と大成の ・ 大成の ・ 大の ・ 大の ・ 大の ・ 大の ・ 大

o至る處の察店にあり つうじをより 藥價五拾銭壹 本铺跌艇本林丁子堂 圓圓

佐志醫院 電話六五〇二番

日午後一時より無か岐ホテル階 大殿即に脱て民會評議戦争の選 大殿即に脱て民會評議戦争の選 記念さして金十四父兄會に寄贈 海。明 「四三」 一种木草 000

潘家 政路局は十五日第二十一次電 で明年度や 建小栗 計震の 永識を表 さ明年度や 建小栗 計震の 永識を表

審海鐵路重役會議

用を聴いてゐるからであらう

なければ書けないのが中國の記れければ書けないのが中國の記れば外字紙で

て谷新聞開係者数名を招待し既能

ふので一般見意

喜びは大したも

な帰職・あさ

胃

烹

河和市居住

父兄會

に寄贈

駿豆震災

義捐金募集

鄭家屯

えて、離人も其場の光景を、ぎょっさしたやうに融やつたまと、ただ、幸吉の死隊のが、俺つていった。 「野やボーイが、どさごささま返った」ながら、 「野人は優ひこりです。寒は…」 「田部さん」 で、月校がれほもぶひつとけや つて了かまで で、月校がれほもぶひつとけや つて了かまで で、月校がればもがから、 田部が何かほし含めてあるさ見に違入って來た。 ながら、 で つてどかまで 酸ってるて下さい。 で こいふこさは、それは今朝晩方に で こいふこさは、それは今朝晩方に 打領ふやう

、ちつき和雄の方を観やりなが、ちつき和雄の方を整で語見い難らせ

◆課題「社通響」◆原稿は東京市牛込區若松町本封筒に満日俳句さ明記◆原稿は東京市牛込區若松町八二島田青崎売八二島田青崎売八二島田青崎売八二島田青崎売八二島田青崎売八二島田青崎売一人<li 新年俳句。集

他株式會社極東書院)の利用へホルナー)(東物及旅客の移動に對す

▲マンガ・マン(新年特輔一陽來福好景氣平號)東京小石川大塚神町東京漫画新川社 中町東京漫画新川社 句の容に就て(青木宏)アロ俳句の内容に就て(青木宏)アロ俳

鹽論型(十二月)東京芝田村町 伊賀町、婦人さ新社會社 育の客製的研究へ小野論を駁す(市川房の婦

問島森臨西亞通信社)。事情(第百二十七世) 報軍

ばいどく、そうどく

理前川護権町三二理前川護権町三二

満電の電氣器具 日時十二月十五日 場所松 H - 二月十三日 場所 松- 二月十三日 場所 松 乃木町バス待合所

大道鉄川間で三個





金撤廢は七

省だけ

北四省其他は存續

新税計畫は上海で頗る不評判

新關稅口來年

先づ鎭静に歸す 安達内相の使者中野正剛氏ご 策動

少壯組懇談の結里

大蔵修正案を

書を作成と既被安遂内様及び岩機【東京十四日景電通】十二日間管機内職総称、當田総乗長は左の壁 大芸教記と芳成人類、復東京十三日景電通】民政黨の庭 に覺害手交 安達若槻兩氏

民政黨の對議會策

六日の總務會から樹立を協議 幣原首相代理繼續論幹部に濃厚

黨内の騒ぎは

遺憾に思ふ

盟主と思はれるのは甚だ迷惑

安達內相車中談

・奥黙にぬては来る十一郎ち右の原脈に基き第一段の語會一理に添付く外なき機様である。一先づ表配鐵網、186 席を期待して進むこと。一先づ表配鐵網、186 席を期待して進むこと。総局は諮供の意を鑑して郷際院代 五十九時會 六日の機称會に於て原、富田、概 禁策を職でる方針であるが、然し 際に 決定し、 たりて臨み休會明け迄繼續せし 経験の 即に (と) なり、 (と) な 一殿者間で臨床中であったが、吉荻 を水質物の連絡輸送の記載あり、

吉敦吉海兩鐵

貨客の連絡輸送

津に起いたが車中時局に關 方敷窓地観察のため次田地 方敷窓地観察のため次田地

のは遺憾に思ふ、殊に世上一、理動が行ばれ内紛等傳へい迫の頑大時期に際じ黨内

礦產、森林等

民國の大寶庫

六つの民族が住居

◇廣祿氏の話

である、蒙古人もまた察哈爾、額 である、歌古人もまた察哈爾、額

を持つてるる時でも あが、安殿が照りれば大 手も力も大きいさ書つて 事人に歌頭さ遠いて来落 かり、一次のである。

● は念部だが職立 ・ は念部だが職立 ・ は念部だが職立 ・ は念部だが職立 ・ を大きはない、そうして支壁の ・ をして大野康である ・ として大野康である ・ にしている ・ にして

關東大會民政黨の

側は相協力とて驚の一致結束を明決定する事を政府側及び興黨リ決定する事を政府側及び興黨リ決定する事を政府側及び興黨 きのふ千葉

國稅輕減と 地方税との均衡 大藏省案一部修正 をサロンに現ばも出連への人々さ 振動を突じた後間る 去る六月中旬日本を出髪し七月 十六日からロンドンの萬國議員 會議に出席した滞英中は同陛下 アーサー親王、コンノート殿下 等皇室の郷重な御歓迎た蒙つた が最も愉快だつたのは五十年前 条が一學生さして留學中のクラ

つて必然的に創設されるこさいなりその内譯は

この域能問題に就き認識の結果大一、注十三日午後六時より常識が開き内 八季教賞と評価中の画際観視と地景観で 分の 二十十三日午後六時より常識が開き内 二十十三日午後六時より常識が開き内 人様 千国以上に對しては税 こして九時間會した 一、但し營業収益税總額は修正前 部時正を行ふに決し 一、但し營業収益税總額は修正前 部時正を行ふに決し 一、但し營業収益税總額は修正前 部時正を行ふに決し す 一、その結果税率をご報率を改正 一、その結果税率をご報率を改正 一、その結果税率をご報率を改正 一、その結果税率をご報率を改正

交那と三

電信會社

海底電信交涉決裂

勢ひ日支電信交渉も停頓に陷る

げふ内務省ご交渉

内務省も承認か

八太平洋會議 明年秋南京で

滿蒙問題で日本を

壓迫する支那の肚

敦新局長が着々計畫 支那新輸入稅率 明年二月より實施か

汪、閻兩氏等頻りに 現地方局脈飛渡奥事納局脈中田政の新低響長は離て内務電が配において継色中の庇懈へ与称電が配においてるたが

普蘭店民政署

長は中田氏

天津にて秘密會合 亡命は宣傳に了るか

香港丸乘客

| 「大選特量十二日難」ご配を覚眠 ではないかさいはれてゐる、 張學 相究内において政局の | 大妻性量十二日難」ご配を覚眠 ではないかさいはれてゐる、 既然 | 大妻 化 が健康されつ、 | 大妻 化 が健康されつ、 | 大妻 化 が健康されつ、 | 大妻 化 が健康される、 | 大妻 化 が | が ないさが | 大会報を | 大妻 | 大会報を | 大会和 各地温度 大速率1-1時 及順 同三三 同五九 同 林祖 公司

政調會

大會

アメメート二十餘名をハイドバークホテルに招待らて一席の宴を要つた時でこの時は白髪の老人連が年を忘れて學生氣分に嫌つて大いにはしやいだ事でもた。でしたがこの時もホテルまで黒馬にかって契れる等非常な歓待振りでかった。八月また歐洲に渡り濁かった。八月また歐洲に渡り濁かった。八月また歐洲に渡り濁いた。八月また歐洲に渡り濁いた。八月また歐洲に渡り濁いた。八月また歐洲に渡り濁いた。八月また歐洲に渡り濁いた。八月また歐洲に渡り濁いた。 一、小學教養係給、排文は支排延期等については義に二回通牒を發う方事 1、政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)政治教育に関しては (4)文理大學高等師範等に (4)文理大學高等師範等に政治教育 (4)文理大學高等師範等に政治教育 (4)文理大學高等師範等に政治教育 (4)文理大學高等師範等に政治教育 (4)文理大學高等師範等に政治教育 (4)文理大學高等師範等に政治教育 (4)文理大學高等師範等と (4)文理大學高等師範等と (4)文理大學高等師或治教育講響 (4)文理大學高等師範等と (4)文理大學高等師或治教育講響 (4)文理大學高等師或治教育講響 (4)文理大學高等師或治教育講響 (4)文理大學高等師可以治教育、(4)文理大學高等的表別,以前教育、(4)文理大學高等的表別,以前教育、(4)文理大學高等師可以治教育講響 (4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學或者,以前教育、(4)文理大學、(4)文述、(4)文理大學、(4)文、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文、(4)文理大學、(4)文、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文理大學、(4)文學、(4)文學、(4)文學、(4)文學、(4)文學、(4)文理大學、(4)文學、(4)文學、(4)文學、(4)文學、(4)文理大學、(4)文學、(4)文學、(4)文學、(4)文理大學、(4

發行請願 遼寧流通公債

日銀券發行條例

改正案は提出せの

今議會に大事ごり

宝 一 サッツ 温泉 東西には、「一 サッツ 温泉 東西には、東一流の腕き、ですどうで御試食師のます、将電話下さいまずれば直に参上御相談に願じます、特電話下さいまずれば直に参上御相談に願じます。

大 総ペて大廉賣 総ペて大廉賣 常、駒鳥、目白、紅雀、山柄 精 一 一ラ、カナリャ其他色々 々柄

行 電三九〇三番

数 きついて気持の良い関東煮を始めました。ざまって保様お揃ひでお出掛け下さい。 き十一時より午後一時迄、夜五時より七時迄 参拾銭で関東煮御飯付喰放題奉仕

木村滿鐵理事、高見成、淺沼謙三 客左の如し、 通知年出 昭和五年十二月十四日
・ 大連市英町二ノ一七
・ 大連市英町二ノ一七 は明十五日午後三時途中行列を殿と常安 時死去仕候間此段辱知各位に御ヨ儀豫工病氣の處養生不相叶本

山山

東北政務會議

枝 公 泰 德 地带 计七 图 速 混

事さなった

0

鐵道省豫算

鐵道會議に諮問

建設費四二、〇〇〇

園の

合計

一八、五四八

【東京十三日養電画】 鐡道塔でよ 十三日郷鎌濱壩。明モ明年玻璃菓

燐寸專賣制抗議

わが林總領事から

年末年始o休暇利用入日間o旅

上海青島視察團募集

座東京一四一三番 創業後十年日本信务月報社報意、打響與四號》 簡券問還日本信务民主社会一个年一國五十錢(限繭金)

正 田泉根より 存答地に 野しては政府 に おいて 深く 考慮を据ひその趣旨 に かいて 深く 考慮を据ひその趣旨

德川貴族院議長歸朝

開く

關稅五割の

『東京十三日餐電通』十三日午後 開かれた民政黨の膨業振興委員會 は左の轉じ合せななした 增減可能 與黨委員會申合

委員會の審査を終るを要す まり關稅定率法の別表に定むる 處の稅率の五「な限度さしてこれな增減する事を得る事、但し 和令の定むる處により原稅審査 の定むる處により原稅。 を関係できた終るを要す

米穀證券發行

御用酒 菊正

通常監市建大 店 商 谷 旬 二四〇七曜

/「ジュー頭痛にノーシン

後援 大連 汽船 **式 會 斌**

申込はツーリスト・ビューローへ電話五五五四

リスト・ビユーロ

图費四十五圓(光船貫·宿泊料·心附)切〉 大連簽十二月廿八日、大連着一月四日

何事も胸におさめて

スト・ファイブに入れることを避けた。また種目によってファイブに 満たないものがあるがこれは競技會の少ない満洲では致し方あるまい。 『風記録は期目の先なるか上記さす△は満洲新記録〇は日本新記録】

トラック(男子之部)

(1)△10秒8 岡 健永(大連) 5月22日 全満リレー (2) 11秒1 赤城 明(工事) 5月22日 全満リレー (3) 11秒2 田中 盛一(強靭) 10月5日 全議選手権 (4) 11秒4 今井 利武(響大) 5月4日 極東議選 (5) 11秒4 加藤 銀平(大蔵) 9月20日 州内中等

國際記録22秒 小窓質薬一部(平和二年) 岡 健次(昭和四 (1) 22秒1 岡 健次(大連) 8月10日 議所別接点 (2) 22秒9 田中 盛一(独和) 10月5日 全流選手機 (3) 23秒1 今井 和武(留大) 10月5日 全流選手機

52時6 三隅一二三(大連) 10月5日 全滿選手機 5月4日 5 2 移7 木田 正計(大連) 5月22日 全浦リレー

54参5 今井 利武(國大) 5月25日 工大到國大 人百メートル 體1分59秒8 園田 常盛(昭和三年) 2分1秒2 三周一二三(大連) 10月5日 全滿選手權 (2) 2分1秒8 濱田 常盛(大連) 8月10日 蘇湖對慶應 (2) 2分9秒4 深田 秀雄 9月20日 州內中等

施型線 4分14秒6 水谷 著一(昭和四年) 4分18秒6 水谷 著一(大 連)10月5日 全補選手機 4分18秒8 大阪 第一(大 連) 5月4日 極東豫選 4分28秒8 八重型米太郎(大連) 5月22日 全補リレー 4分31秒8 花田 一彦(大 連) 7月6日 ハンディー 4分34秒4 深田 常雄(大二中)9月20日 州内中等 4分35秒4 成毛 倪爾(雷 大)6月25日 雷大到工大

(1) 16分27秒 八重座蒙太郎 (大連) 10月5日 全滿選手權

マ ラ ソ ン 高端は 2時間46分36秒6 流速 逸 (昭和二年) (1) 2時間45分6秒6 八重型最大郎 (大連) 4月13日 第日マラソン (2) 2時間52分49秒2 波 逸 逸 (大連) 4月13日 滿日マラソン

百十メトル高障害 福州記錄 15秒3 韓岡 城吉 (昭和五年) (1) 15秒3 韓 岡 韓 吉 (大 連) 9月7日 大連到京報 (2) 17秒 晴 山 昌 邦 (2) 大) 日本大連到京報

四百メートル障害 編集 57秒6 柏 木 吉 丸 (昭和四年) (1) 1分0秒4 山田 後男 (大 連) 10月5日 全流選手機

開記録 40秒 満洲チーム (大正十三年) 46秒 工事チーム(赤城・菅原・坂田・川口)6月22日 全涌リレー 八百メートル繼走 分3.2秒7滿洲チーム(仲田・中村・岡・今年)大正十五年

(1)1分33秒4 大連 O B チーム 小數質・範囲・松重・油野 10月5日全滿選手權 **園 大 チー ム** 比企・廣瀬・梶本・今井 5月25日園大到工大 大連ニ中チーム 西山・西井・吉屋・波邊)9月20日州内中等校 千メートル機走 #2分04秒4DAC+-1(昭和五年)

(1)△2分4巻4 (D. A. C. チ. - △)9月7日大連對京徽 千六百メートル繼走

2 9 秒全清于一上(昭和年)

(万曜日)

我練習艦隊

軍樂隊演

本部及び本社製同社館の総智機繁報組 車樂館演奏會は十四日午後一時から滿 車樂館演奏會は十四日午後一時から滿 電線和會館で儲されたが入場者約千三 百人、頗る感況であつた、岐目は特に

研究時代出崎技師長談

(の好く 高野で しかない 寒めない 寒めない 寒めない 寒めない 寒めない 寒めない 寒のもの

重 金

損がありません

ますから故障や破

姿體がとてよ優美です

正面向きですかっ

ら素人でも小供で打

ますから衛生的であります

に低廉で

日 全社控師長山崎銀大郎氏が派過した、海野の研究は昔の形態学から股 解剖の研究は昔の形態学から股 氏が研究中で帰國の上は各方面 大・一次のでその他組織培養に関する無のでその他組織培養に関すと思ふ、私は マンゴルド教授から指導を受けてきたが分類研究のため忙しくてきたが分類研究のため忙しくてきたが分類研究のため忙しくである。 私は のでその他組織培養に関する無のでその他組織培養に関する無いのでその他組織培養に関する無いのでその他組織培養に関する無いの研究のため忙しく

フィールド (女子の部) 高 滿洲記錄 1 米 3 2 平 写 順子(昭和二年) (1) 1米25 金子八代子(大連) 10月 5日 全滿選手體

(2) 1米20 河原千鶴子(大連) 10月 5日 全滿選手福 (3) 1米15 山口 ケ=(大連) 10月 5日 全滿選手權 三段 協州記錄10米099平壕順于昭(和二年) (1) 9米81 坂田 政代(大連) 10月26日 全日本選手橋 (2) 8米91 岩崎富士子(大連) 10月 5日 全滿選手權

走 巾 跳 滿棚記錄4米59森本溫子(昭和三年) (1) 4米34 岩崎富士子(大連) 10月 5日 全滿選手權 (2) 4坂32 坂田、政代(大連) 10月 5日 全滿選手權

(1) 10米43 坂田 政代(大連) 10月 5日 全滿選手櫃 年来の監修であり破俗の安値を以上 中来の監修であり破俗の安値を以上

特許

日華

フラ

の出

現

的

つた其日から誰でも打てる

堂食の越三

至何とぞ御賞味を願上げますと 別献立を差替へております なべ、ランチなどの他毎日 にない よせ鍋、鳥鍋、牛

(3) 4米28 高岭千代子(大連) 5月 4日 極東線選 (4) 4米17 山下チサエ(大連) 10月 5日 全派選手権 砲 丸 投 滿無記錄(日本記錄) 10米43坂田政代(昭和五年)

(3) 8米69 濱屋八重子(大連) 10月 5日 全滿選手權

土 ゆられたが候神を歌學生の飲道を の飲道は現分けさなり候神を歌學 生の歌道は現分けさなり候神を歌學 生の歌道は現分けさなり候神を歌學 との歌道は現分けさなり候神を歌學 は、後六時十分感會響に終了した、職 は時の歌遊左の如くである(〇甲

歸國準備に忙殺さる

張宗昌氏

別府出發は明春一月初め?

追通電話

廿一日に開通

全世界

式なる側の調査を示すに(単位于

千百八十萬人に上

である

「大士名之圖」 光湫の代表的作品で 毛利侯所有雲舟の作品その他いづれ劣らぬ珍品でたらので度長三年宗成し六層建意匠の自由な點では他に類例のないものである。で、大士名之圖」 光湫の代表的作品で 毛利侯所有雲舟の作品をの他いづれ劣らぬ珍品である。 「大士名之圖」 光湫の代表的作品で 毛利侯所有雲舟の作品をの他いづれ劣らぬ珍品である。 「大士名之圖」 光湫の代表的作品で 毛利侯所有雲舟の作品をの他いづれ劣らぬ珍品である。 「大士名之圖」 光湫の代表的作品で 毛利侯所有雲舟の作品をの他いづれ劣らぬ珍品である。 「大士名之圖」 光湫の代表的作品で 毛利侯所有雲舟の作品をの他いづれ劣らぬ珍品である。

國寶

閣始

文部省が全國八十四件に對し

門外不出の逸品揃ひ

北滿の移民

者の口頭試問 潜 の口頭試問

| 一日割で口頭は間をするさ
| 日割で口頭は間をするさ
| 日割で口頭は間をするさ

歐亞連絡列車から

解剖學界の傾向

に今年末に於ては谷殿さよっ

嚴罰をやめ教化主義

東大池田博士歸

入貨物牛減の大阪商船定期船 末を増へれば今四 みじめ 息

な海運界

正月用品を始め

お勝手用

品等

實用向品々を山のやうに而して格安に

菓子器、

類を陳列

制

夜間營業十五日まり

午後九時まで

十二月十五日より三十一日まで

站

景品付

抽籤の上、

各其一點を等外は粗品を呈上高二圓毎に福引券一枚を差上

たします

枚を差上

醫油一樽鰹節一箱、銘仙一反、子供服一着其他

子供ハンカチ、

宮內省御用

十二月十五日より二十五日まで

大

十二月 七日間

宿直員殺

本大學の

舊遼東水テルド 合油

直蓋

會

澤軍 屋 漆 器

********* 一 一 器 型 製

カタログ贈呈

然タイプラ

時五分着列車で安東より來奉の

、盗崎つまよ、 西川てる、中根 本事 係 内川

署に届け出た

カニュース

百

ケ月に 一段園主西田天香氏の講演會は十一段園主西田天香氏の講演會は十八日午後六時半から満緩社員俱樂がりから奉天驛樓上に於て滿緩、四十分から奉天驛樓上に於て滿緩、四十分から奉天驛樓上に於て滿緩

能率增進表彰式

白五十軒《倒產

商工總會の救濟策空し

大阪市港町日本輸出亞鉛板工業組 合真務 #事川畑愛之助は十二日朝 安率線にて過率長春に赴く 六百 八十餘風な紛失し済くなつてその 筋へ届け出た。

三等動力水道工場、同大孤山保一等銃緩工場、二、該炭工場。簡所は次の通りである 報告あり表験状授與されたが入賞 統劍術大會

文学であるため一時能の融通は出来 が、酸・総會の気候和子が繰りに高 が、酸・総會の気候和子が繰りに高 が、酸・総會の気候和子が繰りに高 が、酸・総會の気候和子が繰りに高 が、酸・総會の気候和子が繰りに高 が、酸・と、

年後六時代・5社員供業部に於て 「監につき議選があり多数來聽」 施設につき議選があり多数來聽」 「監につき議選があり多数來聽」 「大学をであるさ

廿一日中學校で 東にて南行の豫定であるこ 東にて南行の豫定であるこ 東にて南行の豫定であるこ

中華國民、後生は四十八名は十四 中華國民、後生は四十八名は十四 中華國民、後生は四十八名は十四 東の母の歌語など午後二時急校に て來観し諸銀社最快樂部 一般で謝 派がも十四日は魏城所に然で現業 派でも十四日は魏城所に然で現業 西田一燈園主

戦山獨立宇備第六大隊では來る二

新年互禮會

三十分より小根校職堂 然で新年 を整る二十三日まで地方事が所監務 「株まで申込まれたして会費五十銭 「株本で申込まれたして会費五十銭 廿三日までに

る。雑銭慢に割しては非酸の壁が注意を促した支那側の衛生に属す

時内にて天房店棚上である。 教館に官民が表五十餘名を探索して 教館に官民が表五十餘名を探索して 大学がある。 教館に官民が表五十餘名を探索して 大学がある。 大学がなる。 年前九時熊が城より来充富民多数。 の出班へを受け難撃接間にて一先 の出班へを受け難撃接間にて一先 名時れ移きで出

大森部長招宴

す。それは私から皆行ったければ

田市の面によが優事が強い決心

なないことです」

施工地上代政に関し一場の挑判 を代表して戦争を当べたかくて 長は午後一時既に熊帝媛に飛る媛に北京 たが地容殿を載い、際舎だった

年来の歌遊すると共に睡戒の微行 を地に離々する歌の多い昨今、殊 のはに離々する歌の多い昨今、殊 を地に離々する歌の多い昨今、殊 のでは、 ので

言論壓迫

支那官憲の

列車を嚴戒

本月一日から十日までに東支が取りのうち輪出接艦が一一 七千順、 大のうち輪出接艦が一一 七千順でボクラは六一千順、現在の在置に西 のでは六一千順、現在の在置に西 である

悪運遂に盡きた

三十分より観蝶において心年會を 観山市場會社では十五日午後五時

强盜殺人鬼銃殺

有子分、り観性において認年會を戦山輸入総合で以下三日午後九時

支那官憲の手にて

本部山新

兒童愛護

ニっ

匪賊移動で

上旬の東鐵取

にはなかれるよは何處までも支那のハルピンヘラルド紙のみが勢力のハルピンヘラルド紙のみが勢力を有するに松つてゐる、長いもの

扱貨物

新聞記者が官観の走狗さなつて御 歴象會では十四日午後六時より式であるが、これは中國における「鞍山銀前琵琶百合野/歴祭師門下式であるが、これは中國における「鞍山銀前琵琶百合野/歴祭師門下

総山突和會では來る十七日午後丘 時三十分より蘇町クラブに駅で記

答所に脱て高年會か職艦して居る を動に脱て高年會か職艦して居る

渍

御供へ餅。

あ丸か

あんこ餅。

京京風菓子謹以

御用命た!

日本各

地名産.

珍

物

新刊级中

兒

000

大山通

罪を損にし在住

が続が狂つたのも、みんな親の心けらやないんです。親は此の人を んをれらつていけたのし 程がつくり出したんですもの て、京子さ

心身の一部養を無ね舊塵を脱し心ゆくば の靈泉湯崗子を御選定遊ばせ かり新春の氣に浴せらるゝ為め全滿第一 越年の最適所

(至三月宿泊参日以上室料は飯) 湯崗子溫泉



さ明年度で残れ業計量の承認を表で食品を関き本年の燃業既必要告 東鐵理事會の

記念さして金十四公児舎に寄贈

父兄會

に寄贈

O

海

の明

°°°

The state of the s

(三四二)

一大大真

が 記事で国外追放を論ずる協報子へ 記事で国外追放を論ずる協報子へ はで、 の新版政策なるものが知る
本新版。 まで、 のが性が表する。 のが知る。 を記述されば、 を記述される。 のが知る。 を記述されば、 を記述されば、 を記述されば、 を記述される。 のが知る。 を記述されば、 を記述される。 のが知る。 を記述される。 のが知る。 を記述される。 のが知る。 を記述される。 のが知る。 を記述される。 のが知る。 を記述される。 のが知る。 を記述される。 のがれる。 のがな。 のがれる。 のがれる。 のがな。 のがれる。 のがな。 のがれる。 のがれる。 のがれる。 のがな。 のがれる。 のがれる。 のがれる

東部に言論既追論はマルで官憲、記事で國外追放を論する協報子へ

民會聯

雪間吹く風へご

鄭家屯

、 池田、 標本の三脈脈の 豪士に、 池田、 標本の三脈脈の豪士會な関係し鎌 空から見た開原

石橋

ボーイは直に事務長の命をうけて、此の慌願の選ぜられた際でなった。 であるべく出て行つた。

のでした。

遂に引 支那惡

渡さる 德記者

後、艦隊は直に京子

これは窓だれほどの深い重い節で後、艦骨は直に京子の際を診たが

で希望者は飛機ありたいさ にて来が響に総明なが派な調査 して来が響に総明なが派な調査 であり参考になる転も必くないの であり参考になる転も必くないの 馬賊團の動静

はなかった。 原子は苦さうな中にも、蛇皮、魚 た引き立て、居られた。 ですり、最から根が鬱さんに眼上 げなければならないここがあるの。

トを出して

た旅り始めた。

坐って、月枝の云ふこさ

さ、また月枝が突然にいう云つ

| できることですーーいった、肉でも続したんですーーいった、肉で

の他(東京市淺草區田島町、の他(東京市淺草區田島町、中の内容に就て(日本宏)プロ伊子一月號) プロレタリア俳呼東京漫畵新一社

電話せれ八七番

新社會八十二月)東京四谷

下し

一等は銑鐵工

山麓美館に成て社会保護総新聞支 一振り廻し脅唱 て傷らず世人より

けふ來鞍

たく、野性河附螺点北方統三支里が、高城螺に十三日・後上時頃、 開放著にては勝電響版中なりとで観さる機能による機能に対けれ同所附近でない。

狂犬に咬まれ 一名死亡

既、「日本和元年

無責任な官憲

練習艦 隊の

で来遊、城内外 煙臺に 將校來遼 四人組 製売車で北谷 製売車で北谷 ・ 日然谷

1年末になるさ花柳界方面から去

時節病本年は特に注意と警

忘年會一束

勢酌婦の

は、後一時から盛大なリンク が出来上つたので飛ばりンクが出来上つたので飛ばりとかが出来上つたので飛ばりであったがこの程

北滿經濟地圖を

濱

近く東鐵で出版

各種の産業を網羅

開き

一八萬子七百十九石町5四輌だの塔 十三萬四千百廿七反歩、總収入五 十三萬四千百廿七反歩、總収入五 十二萬一千百廿九石で昨年の四十 十二萬一千百廿九石町5四輌だの塔

本年度の作柄

日に舉行

借金願出

五百圓が最高

の强盗 脳地の境界外に居 大々は、みんな其の方を融たは、大々は、みんな其の中に、勢吉の死際が 、一般・は真然とた真子が緩延の上に、対して、大性、 、は真然とた真子が緩延の上に、対して、大性、 、大々は、みんな其の方を融た。 、大々は、みんな其の方を融た。 、大々は、みんな其の方を融た。 、大々は、みんな其の方を融た。 、大々は、みんな其の方を融た。 、大々は、みんな其の方を融た。 、対し、大は、かんな其の方を融た。 、は、かんな其の方を融た。 、は、かんな其の方を融た。

暦付き、一部で並んで共虚に突 事締長は 「何にと歴郷と切つた つ立ってゐる。

践し出したのだった。 これ原因は、此處にる 高ん中に、月枝は監督 何事か決心したら

へがくりき難れて下った。

る處の楽店にあり

本铺欧艇本林丁子堂 す 生活

果具市外に、町柏木ブリア(十二月創刊等) リア(十二月創刊等) 回照結成官言そっ他、 回照結成官言そっ他、 心東京市外代々木 東京麹町

が、ちつき鍛雑の方を観やりなが、ちつき鍛雑の方を観やりなが の二人に一般の審を表演の中

新竹質蔵、管野高治、山口の部駅左の部里左の通りを後三時数 の部駅左の通り管選した の部駅左の通り管選した

to

新年得句

月枝の紅、穂詰めながら、べたりが が五に帰るしい戦慄が身を觀った は五に帰るしい戦慄が身を觀った はいまかながら、

事務長は関中から、小さなノーさ其處に生く」

日本自動軍運輸の狀況(吉村寛一女争一个十二月號) 財界の将一十多十八十二月號) 財界の将一十名事節形

(十二月號) 京城旭町

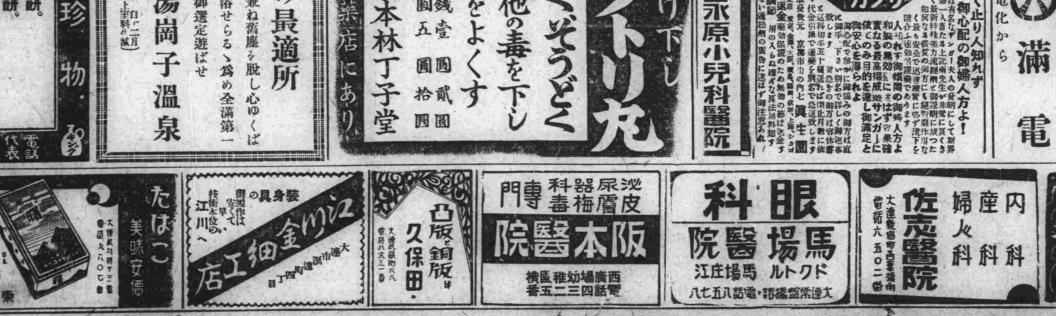
「出館さん!ごうか祝が一通り云で出ることは、そ、 「無館さん!ごうか祝が一通り云でいることは、そ、 「「「田の肉類を……」」

十一月號

日時十二月十五日 満電の電氣器具 場所松

觀歡迎

乃木町バス待合所 ープ其他



新橋烏森縣西亞派信配)の「事情(然百二十七)」

ばいどく、そうどく

麻病其他の毒を下し

つうじをよく

藥價五拾銭壹

圓圓

拾貮

田六・譚)東京豊岡婦本國に於けて熊朝的婦を駆す(市川島州野論を駆す(市川島州野論を取す(市川島